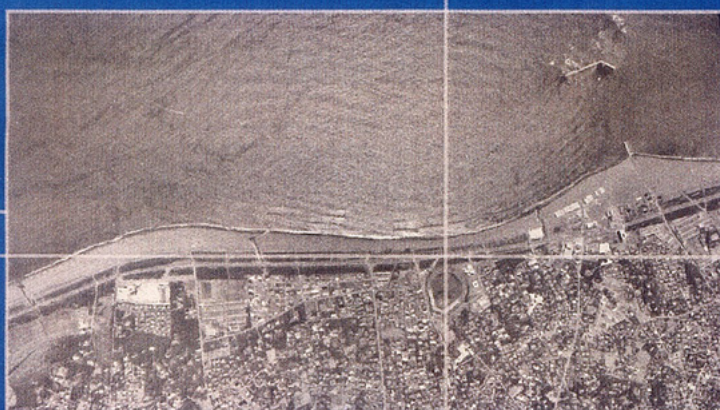
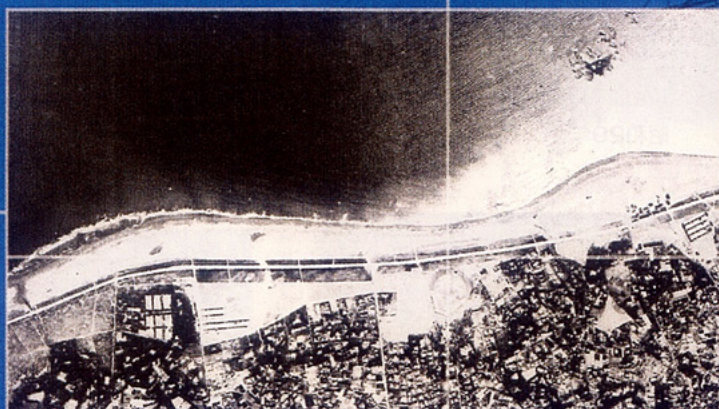


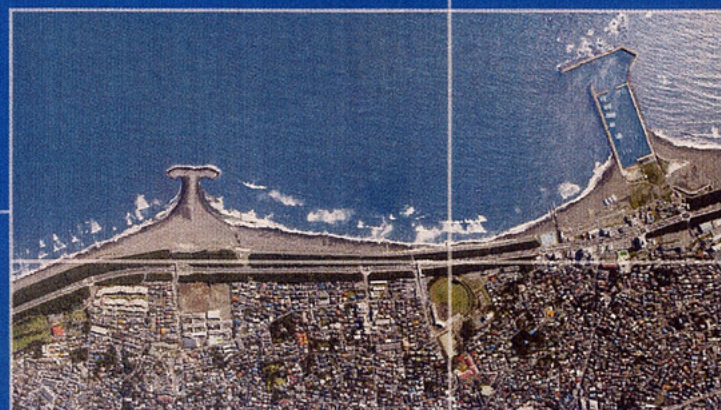
茅ヶ崎海岸（中海岸地区） 侵食対策事業について

昭和29年



昭和44年

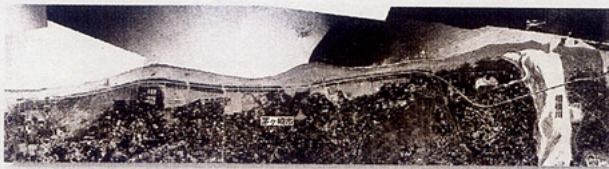
平成17年



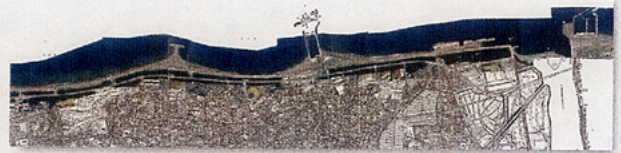
茅ヶ崎海岸の侵食実態

茅ヶ崎海岸は、主として相模川からの流出土砂が堆積して形成された海岸であり、特に相模川からの流出土砂のうちの細粒分は冬季の西風による飛砂によって東向きに運ばれ、辻堂砂丘を始め海岸域に砂丘地帯が発達しました。ところが、相模川にダムが建設され昭和30年代に大規模な砂利採取が行われるなどの都市開発が進み、河川流出土砂量が激減したことで砂浜全体が減少し、更に、漁港や海岸構造物など沿岸漂砂の移動を阻止する施設が建設された結果、局所的な侵食が急速に進行しました。

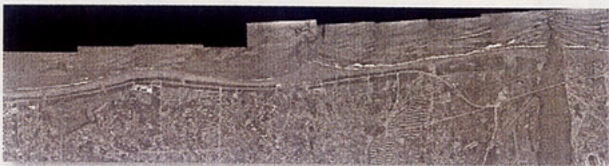
しかし、ダム、漁港及び海岸構造物などはそれぞれが生活を営む上で必要不可欠な施設であることから、これら施設と連携したサンドバイパスによる養浜など、山、川、海が連携した総合的な土砂管理の取組みが大変重要であると考えています。



昭和29年

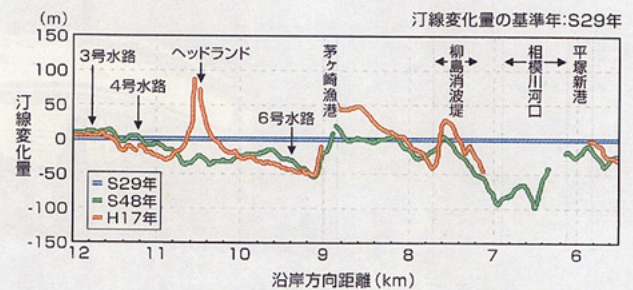


平成17年



昭和48年

無断転載禁止



土砂の流れの遮断



茅ヶ崎海岸中海岸地区の養浜事業概要

茅ヶ崎海岸中海岸は、50年間で汀線が約50m後退した侵食が著しい海岸の一つです。

平成9年度の高波によって背後の国道134号自転車歩行者道が被災するなどの被害が生じました。

この対策として、相模ダムや茅ヶ崎漁港西側の堆積土砂等を運搬し、海辺で敷き均す「養浜事業」によって、砂浜を広げ、防護、環境、利用の調和の取れた侵食対策を実施しています。

養浜事業の概要

目標砂浜幅 最も後退している箇所の砂浜幅を50mまで回復

粒径 砂分と礫分を含む混合粒径

養浜量 年間3万³mを10年間で合計30万³m



平成9年高波



平成9年被災

中海岸平面図

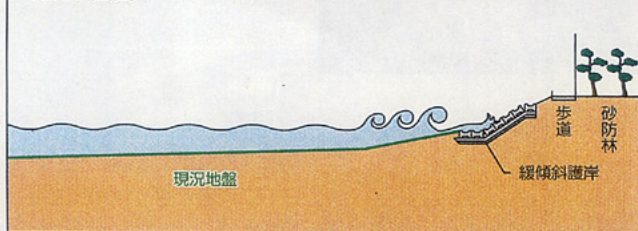


平成17年高波



平成17年被災

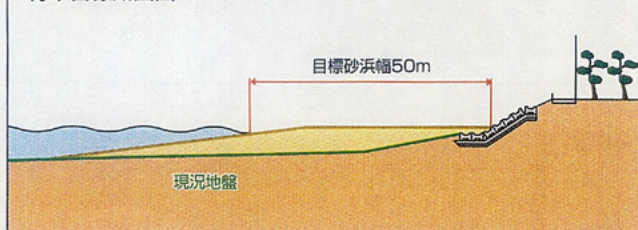
現況断面図



養浜施工断面図



将来目標断面図



相模ダム浚渫



土砂置き



土砂運搬



養浜施工中

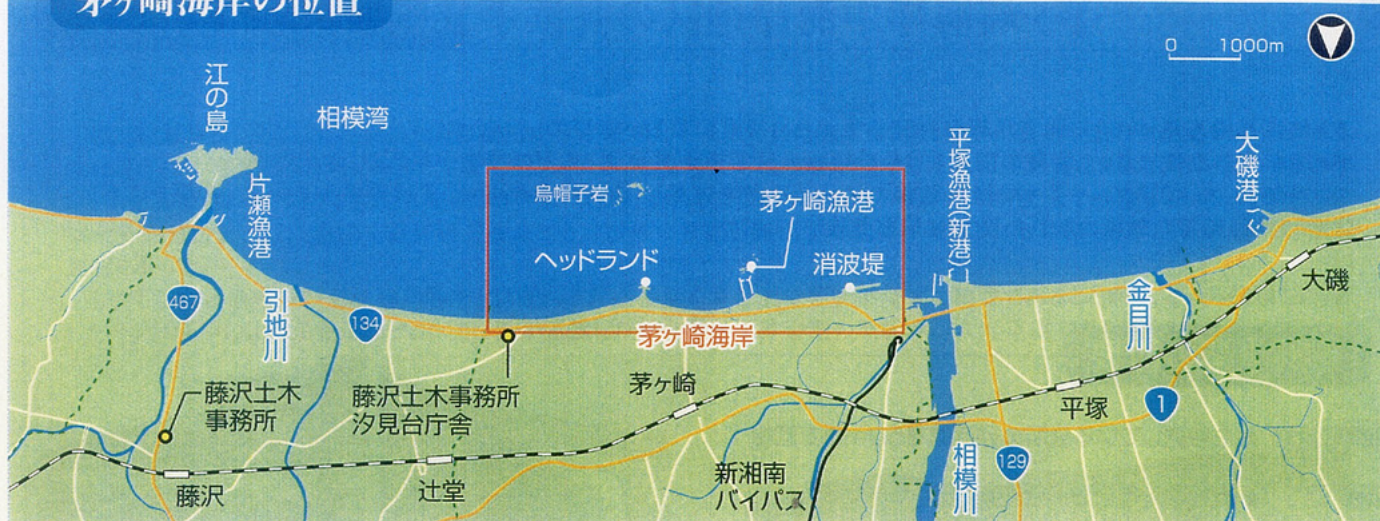


平成17年8月養浜前

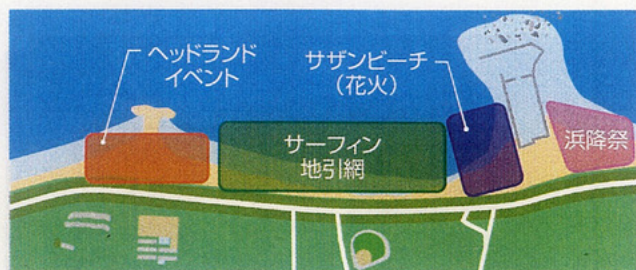


平成19年6月約3万³m³養浜後

茅ヶ崎海岸の位置



茅ヶ崎海岸の見どころ



サザンビーチ茅ヶ崎

茅ヶ崎海岸唯一の海水浴場です。例年7月上旬から8月31日まで開設されています。



烏帽子岩

烏帽子岩は、沖合い約1.2kmに大小30ほどの岩が集まった岩礁群で、岩礁の一つである姥島の中央に烏帽子岩が高くそびえています。



サザンビーチ茅ヶ崎花火大会

例年8月第1土曜日に開催されます。サザンビーチで遊んだ後は、海上いっぱいに広がる花火が楽しめます。



湘南祭

例年4月～5月にサザンビーチでフリーマーケットやビーチサッカー大会などのイベントが海と人との共生をテーマに開催されています。



浜降祭

例年7月の第3月曜日(海の日)に漁港西側の南湖地区の浜辺から渡御が行われます。



地引網漁

茅ヶ崎海岸沿岸で営まれています。なお、シラス漁は1月から3月10日まで禁漁期間です。



国道134号自転車歩行者道

茅ヶ崎海岸と藤沢海岸をつなぐ、7,726mの道路です。海を楽しみながらのウォーキングやサイクリングなどに利用されています。

※養浜に利用する砂を受け入れています(公共事業のみ)。詳しくは下記ホームページの「海岸」をご覧ください。



神奈川県

藤沢土木事務所なぎさ港湾課 電話(0467)58-1473/FAX(0467)58-4953

茅ヶ崎市汐見台1-7 ☎253-0033

藤沢土木事務所ホームページアドレス <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/07/1913/fujido/fujido-index.htm>